

=====

◆◇「犯罪からの子どもの安全」メールマガジン vol.5 ◇◆
2009年1月28日号

=====

このメールマガジンでは、(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(以下、RISTEX)「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域が領域の活動報告をはじめ、各種イベント案内、国の取組み、問題に取り組む人々の紹介など、犯罪からの子どもの安全に関する様々な情報を毎月一回程度配信しております。

次回から配信を希望されない方、登録情報を変更したい方は、末尾をご参照下さい。

メルマガについてご意見やご感想、こんな情報が知りたい、こんな取り組みを行っているなど、皆様からの情報をお待ちしています！

◆◆ INDEX ◆◆

1. 犯罪からの子どもの安全レポート
-新しい年を迎えるにあたって(片山領域総括からのご挨拶)
-国の犯罪対策
2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報・今月の見どころ
3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング
今月一番注目されたコンテンツとは・・・



1. 犯罪からの子どもの安全レポート

皆さん、こんにちは。

2009年最初のメールマガジンです。今年も犯罪からの子どもの安全に関する様々な情報を皆さんにお届けできるよう、気持ちを新たに頑張りますので、変わらぬご愛読をよろしく願います。また、この問題に関心のある人々に、このメルマガを是非紹介して下さい！

1年で最も寒い「大寒」のまっただ中。凜とした空気の中に、くっきりと浮かび上がる星空は、なんとも形容しがたく、きれいなものです。

「夜だけでなく、昼間もきれいなまちを目指したい」

これは、先日取材に伺った池崎守プロジェクト代表の言葉です。地域住民が主体となって子どもの見守りと地域のあり方について検証していくこのプロジェクト。取材記事は後日WEBに掲載する予定ですので、ご期待下さい。

そのほか、「犯罪からの子どもの安全」領域では、年明け早々各プロジェクトで様々な活動がなされており、領域担当が参加した活動を少し紹介します。

「犯罪から子どもを守る司法面接法の開発と訓練」プロジェクトでは、第1回司法面接法研修会を実施。適切に証言を聴き出すことがどれほど難しいかを、ほんの少しですが体感するとともに、児童相談所職員の方々と研究者の“協働”の重要性を改めて感じました。

「計画的な防犯まちづくりの支援システムの構築」プロジェクトでは、「小学校区における情報共有システム～情報弱者に優しい先進事例に学ぶ」と題した研究会や、PJ実施者の一人による特別講義が開催され、まちづくりについてあらゆる視点から取り組んでいる姿勢が伺えました。

「系統的な「防犯学習教材」研究開発・実践プロジェクト」では毎月一回程度全体会議を開催しており、各グループの進捗状況や議論を伺ってきました。

これだけを見てみても、実にテーマが様々で、改めてこの領域の扱う問題の幅広さを実感します。

皆さんも、これらプロジェクトについて、実施者から直接話を聞いてみたいと思いませんか？

3月10日（火）に、東京で領域主催のシンポジウムを開催します。プロジェクト代表者による講演4件・パネルディスカッションと、全8プロジェクトによるポスターセッションを開催。詳細は後日ご案内しますので、今のうちからスケジュール帳に記入しておいて下さい！

今号では、2009年一発目ということで、片山領域総括からのご挨拶と、国の犯罪対策についてのレポートを掲載しています。

どうぞご覧ください！



●新しい年を迎えるにあたって（片山領域総括からのご挨拶）
～「犯罪からの子どもの安全」に係わって3年～

新しい年を迎えるにあたって、一言ご挨拶申し上げます。

初めてこの領域に関係したのは3年前のことです。「犯罪からの子どもの安全」という領域が研究として成り立つかどうかを検討するワークショップをやるので座長を頼みたいとのことでした。

それが、今では領域の総括としてどっぷりと浸かってしまっています。

たくさんの方は私のことを地震防災の専門家と思っているようです。確かにその通りかも知れません。でも、私は、根っから何にでも興味を持つ人間です。自分を何かの専門家と決めて、その周りに囲いを作ってしまうことが大嫌いでした。

工学の分野では、自分の専門分野を「××屋」と言って、周りを囲って

しまうことが少なくありません。たとえば、土木工学では、「私は橋“屋”です」とか「私は河川“屋”です」とか言うのですが、これにはいつも抵抗を感じていました。

確かに、土木工学科を卒業し、地震防災を中心に研究してきましたが、私は、環境の問題にも、エネルギーの問題にも、食糧危機の問題にも興味があります。だから、当然のことですが、「犯罪からの子どもの安全」にも大いに関心があります。それなのに、私の周りには、「いつから子どもの安全（なんか）を始めたの」と聞く人がいます。

実際に領域総括をやり始めてから、「これは大変な仕事だぞ」と、感じ始めたのも事実です。いくら興味と関心を持っていても十分な知識が不足していることは認めざるをえません。それに、この領域では、世の中に役に立つ成果を生み出すことが、当たり前のように求められているのです。

犯罪からの安全のために日夜活動している警察でさえ防ぎきれない子どもへの犯罪がある中で、たかだか5、6年の研究で何ができるのでしょうか。

私を含め、この領域の推進に当たっているグループの人たちは、「役に立つ」にはいろいろなレベルがあると考えています。一見きわめて基礎的な研究でも、将来のこの分野に一石を投じるものがあるはずです。このような研究は子どもへの犯罪を明日から減らすことはできなくても、長い目で見れば、とても大切なのです。

この領域で実際に個別の研究課題に取り組んでいただいている方々、社会技術研究開発センターの中で毎日悪戦苦闘しているスタッフ、そしてそれらの活動に数々の有益な助言をいただいているアドバイザーの方々も、なんとかして役に立つ成果を生み出そうと努力しています。

メルマガをお読みいただいている皆さんの温かいご支援をお願いします。

（領域総括 片山恒雄）



●国の犯罪対策

皆さんは、犯罪対策閣僚会議をご存じですか？

日本において刑法犯認知件数が戦後最多となったのが平成14年。その翌年の平成15年9月から、内閣総理大臣が主催し全閣僚を構成員として開催しているこの会議。

「世界一安全な国、日本」の復活を目指し、同年12月に、「犯罪に強い社会の実現のための行動計画」を策定するなど、国としての犯罪対策の指針を打ち出してきました。

それから5年後の昨年（平成20年）12月末には、「犯罪に強い社会の実現のための行動計画2008」を策定。今後5年間を目途に推進する以下に示す7つの重点課題を設定しています。

- (1) 身近な犯罪に強い社会の構築
- (2) 犯罪者を生まない社会の構築
- (3) 国際化への対応
- (4) 犯罪組織等反社会的勢力への対策

- (5) 安全なサイバー空間の構築
- (6) テロの脅威等への対処
- (7) 治安再生のための基盤整備

対策を進める上での基本理念として、旧計画が示した治安回復のための3つの視点、「国民が自らの安全を確保するための活動の支援」、「犯罪の生じにくい社会環境の整備」、「水際対策を始めとした各種犯罪対策」に加え、「犯罪が発生する原因及び社会的背景に対する的確な分析と対処」を据えています。

実際に、様々な取り組みを進めるだけでなく、(7)をはじめ、以下のような必要な調査研究の推進が述べられています。

- ・家庭環境と犯罪との関係についての調査研究
- ・犯罪報道が犯罪に与える影響についての調査研究
- ・少年問題に関する共同研究
- ・来日外国人少年の非行防止対策に関する調査研究
- ・無差別殺傷事件の社会的背景等に関する調査研究
- ・犯罪対策の効果に関する評価研究

この行動計画は“子ども”に限ったものではありませんが、序文の中で「子どもが被害者となる犯罪が相次いで発生するなど」という文言があるように、子ども向けに明記されたものもあります。

子ども向けと言え、同じく12月末に犯罪対策閣僚会議で報告されたものに、「犯罪から子どもを守るための対策（改訂）」があります。私たちの領域についても、「科学的知見・手法等を活用した子どもの安全対策の実施」として記載されているのですが、各研究開発プロジェクトが取り組んでいることは、前述の行動計画やこの対策に記されている他の項目にも、当然ながら大いに関係しています。

このような行動計画や対策を見て思うことは、これをしていれば大丈夫！という対策はない、ということです。

どんなに頑張っても犯罪をゼロにすることは困難ですし、新たな犯罪も発生します。国や行政といったレベルから個人レベルまで、様々な角度からの対策を組み合わせていくことにより、犯罪被害に遭うリスクを減らしていくことが大切です。

まずは各自・機関でできること、なすべきことから取り組んでいくわけですが、時には自分たちの取り組みが、犯罪対策の大枠や犯罪から子どもを守るためになすべきことの中で、どのようなポジションを担っているのかを考え、欠けている視点・補うべき視点、短期の取り組みだけでなく長期にわたる研究開発等も含め取り組むべきことは何かを考えていくことも大切ではないでしょうか。

(参考URL)

犯罪対策閣僚会議：

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/hanzai/>

犯罪に強い社会の実現のための行動計画2008：

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/hanzai/081222keikaku2008.pdf>

犯罪から子どもを守るための対策（改訂）：

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/hanzai/081222taisaku.pdf>

尚、行動計画2008については、昨年11月にパブリックコメントを募集

しました。パブリックコメントを見ると、様々な視点からの意見があることが分かります。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/hanzai/pc/081222kekka.pdf>

(領域担当 N.A.)

2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報・今月の見どころ

【更新情報】

●国の取り組み

「児童見守りシステム導入の手引書」の公表（総務省）
http://www.soumu.go.jp/s-news/2009/090109_2.html

「インターネット上の違法・有害情報への対応に関する検討会」
最終取りまとめの公表（総務省）
http://www.soumu.go.jp/s-news/2009/090116_1.html

犯罪被害実態（暗数）調査（法務省）
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/11/h1119-2.html>

その他の取り組みについてはこちら

→ <http://www.anzen-kodomo.jp/ministries/>

●イベント情報

平成21年1月30日 警察庁 警察政策フォーラム
「我が国における犯罪対策の成果と課題」
<http://www.npa.go.jp/shintyaku/1-30FORUM.htm>

平成21年1月31日 犯罪心理学会 地区研究会情報
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jacp2/meeting/index.html>

平成21年1月31日 文部科学省 「ネット安全安心全国推進フォーラム」
ー子どもとケータイ 適切な使い方のためのルールづくりを
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/12/08121904.htm

平成21年1月31日～2月1日開催 日本安全教育学会
平成20年度日本安全教育学会研究集会

<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/karima-lab/JASE/Research%20Meeting%20Prog081211.pdf>

平成21年2月7日開催 日本安全教育学会
第4回安全と養護教諭フォーラム in 広島
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/karima-lab/JASE/2009Hiroshima1st.pdf>

平成21年2月10日 神奈川県「安全・安心」まちづくり県民大会
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/anzenansin/kenmintaikai/h20/chirashi.pdf>

平成21年2月11日 JST CREST International Symposium on Everyday
Life Computing for Injury Prevention 国際シンポジウム
「傷害予防のための日常生活コンピューティング」
<http://www.dh.aist.go.jp/projects/child/registration/20090211/>

平成21年2月19日 日本都市計画学会 都市防犯研究会講演会
「市民安全と都市計画の融合を目指して」 (PDF : 64.5KB)
<http://www.anzen-kodomo.jp/pdf/20090109.pdf>

平成21年3月7日 NPO法人すみだ学習ガーデン 第15回トレンドセミナー
さあ、はじめよう！「オヤコノマーチ」
<http://www.sumida-gg.or.jp/trend/T19.htm>

平成21年3月10日 JST RISTEX「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域
第2回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム
被害実態をつかむ— 子どもたちの叫びが聞こえますか —
※申込サイトは近日公開予定

その他のイベントについてはこちら
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/event/>



【今月の見どころ】

今月の見どころはトピックスから、「プロジェクト実施者インタビュー
第4回」です。

今回インタビューしたのは、平成19年度採択「系統的な『防犯学習教材』
研究開発・実践プロジェクト」の皆さんです。

地域の防犯指導者を育成するシステム開発に向け、教育や工学など様々な
バックグラウンドを持つ方々が携わっているこのプロジェクト。
それぞれの専門がどう活かされているのかや、プロジェクトに対する思いなど
をお聞きしました。ぜひご覧ください。

トピックス

→ <http://www.anzen-kodomo.jp/column/>

3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング

【アクセスランキング】

☆1位 プロジェクト実施者インタビュー 第1回
<http://anzen-kodomo.jp/pdf/int01.pdf>

2位 研究開発プロジェクト
<http://anzen-kodomo.jp//program/research/index.html>

3位 イベント情報

<http://anzen-kodomo.jp//event/index.html>

「犯罪からの子どもの安全メールマガジン」

▼メールマガジンに関する各種変更、配信登録・解除はこちら

<http://www.jst.go.jp/melmaga.html>

▼ご意見・ご感想、お問い合わせはこちら

c-info@anzen-kodomo.jp

■発行日 2009年1月28日

■発行元

(独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域

領域WEBサイト <http://www.anzen-kodomo.jp/>

社会技術研究開発センターWEBサイト <http://www.ristex.jp/>
